

**学校法人柳城学院  
名古屋柳城短期大学  
機関別評価結果**

**平成 20 年 3 月 19 日**

**財団法人短期大学基準協会**

## 名古屋柳城短期大学の概要

設置者	学校法人 柳城学院
理事長名	森 紀旦
学長名	永見 勇
A L O	成田 朋子
開設年月日	昭和 2 8 年 4 月 1 日
所在地	愛知県名古屋市昭和区明月町 2 丁目 5 4 番地

## 設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
保育科		200
	合計	200

## 専攻科および入学定員(募集停止を除く)

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	保育専攻	15
専攻科	介護福祉専攻	30
	合計	45

## 通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

名古屋柳城短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成 20 年 3 月 19 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 18 年 7 月 6 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

創立以来、「愛を持って互いに仕えよ」との建学の精神が樹立しており、分かりやすく学生便覧などに示され、周知徹底が図られている。

統一された記載形式により講義要綱が作成され、授業科目の目標、全体計画、評価方法、テキストなどが理解しやすく整理され、学生にとって必要な情報は充分提供されている。

専任教員の数は短期大学設置基準を充たし、さらに短期大学教員としての資格と資質を有している。

担当教員による単位認定の方法、学習評価は適切であり、高い授業満足度を示している。

入学時よりアドバイザー制度の導入により、学生に対するきめ細かな学習支援が図られている。

全専任教員は、自分の専門分野の研究活動を活発に展開し、その成果を著作、論文などにまとめている。

ボランティアや地域活動への参加は、保育者としての技能を高め、学生自身の人間性を高めるものであるとの評価のもと、多くの学生がボランティアを実践し、地域社会に貢献している。

学長のリーダーシップのもと、教授会、各委員会は、学則や規程に基づき適切に運営されている。

学校法人および短期大学の経営の状況は、過去数年にわたり均衡しており、財政状態も健全に推移している。

自己点検・評価委員会が組織化され、自己点検・評価規程に基づき評価・点検を実施している。

## 2. 三つの意見

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- 創立以来、新約聖書に由来する「愛を持って互いに仕えよ」が建学の精神として樹立されている。この建学の精神は、学生便覧、大学案内などに明確に示され、入学式などの学校行事、チャペル礼拝などの宗教的行事などにおいて周知徹底が図られている。確固とした建学の精神に裏打ちされた教育理念は、100年以上に及ぶ当該短期大学の歴史の中で、教職員に自然発生的に感じ取られてきたものであり、揺ぎのない価値として共有されている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

- 保育科において、ほとんどが選択科目であることは学生の多様なニーズに応えるものとなっており、その意味において、オリエンテーションやアドバイザーによる個別指導がきめ細かに行われている。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 図書館において2,000点余所蔵している「紙芝居」に着目し、平成17年に「子ども文化と紙芝居プロジェクト」を立ち上げ、平成18年には2件が子どもゆめ基金の助成プログラムの選定を受け、全学的プロジェクトとして活動を活性化している。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 教員は、学生による授業評価の結果をもとに授業の工夫改善を図り、教育目標達成のための努力を重ね、高い授業満足度、98%以上の資格・免許取得率の結果を得ている。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- アドバイザー制度の導入により、入学時より学生に対するきめ細かな学習支援が図られており、就職や進学の見学支援についても、それにより十分な対応がされている。

#### 評価領域Ⅵ 研究

- いのちへの感覚が希薄になっている現状を鑑み、生と死を考えることを通して「いのち」の大切さ学ぶことを目的にした授業を4年にわたり展開し、それについて考察を加え、専任教員の共同研究「いのちを考える授業」論文として紀要にまとめている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

- 地域の幼児・児童・保護者対象の、学生自身による企画・製作・運営・発表の活動として、授業「保育内容指導法—実践研究—」の最終発表の場でもある「りゅ

うじょう子どもフェスタ」を実施している。

## (2) 向上・充実のための課題

評価領域Ⅱ 教育の内容

- シラバスにおける評価方法の記載内容が、科目間でバラツキがあり、客観的な評価基準を明示するための取組みが望まれる。

## (3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

### 3. 領域別評価結果

	評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ	教育の内容	合
評価領域Ⅲ	教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ	学生支援	合
評価領域Ⅵ	研究	合
評価領域Ⅶ	社会的活動	合
評価領域Ⅷ	管理運営	合
評価領域Ⅸ	財務	合
評価領域Ⅹ	改革・改善	合

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

創立以来、「愛を持って互いに仕えよ」との建学の精神が樹立しており、その精神から7項目の教育理念を掲げている。建学の精神、教育理念は分かりやすく学生便覧などに示され、入学式などの学校行事、チャペル礼拝などの宗教的行事、さらにアドバイザー制度のもと、教員と学生が様々な問題をともに語り合う中で周知徹底が図られている。

建学の理念に基づいた日常の教育活動により、教育の目的・目標の周知徹底が図られている。教育目的・目標の点検は、運営委員会や宗教委員会で議論され、教職員の合同研修会において定期的に点検されている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

統一された記載形式により講義要綱が作成され、授業科目の目標、全体計画、評価方法、テキストなどが理解しやすく整理され、学生にとって必要な情報は充分提供されている。

授業内容と教育方法の改善は、学生による授業評価とそれに基づいた教員の授業改善、教員のファカルティ・ディベロップメント（FD）活動、職員のスタッフ・ディベロップメント（SD）活動など主体的かつ全学的に取り組まれている。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

専任教員の数は短期大学設置基準を充たし、さらに短期大学教員としての資格と資質を有している。専任教員は、教育目標とのかかわりの中で、教育・研究、学生指導、委員会活動、実習園訪問を含む地域共同活動など教員の役割、責務に意欲的に取り組ん

でいる。

日常の教育活動をする講義・演習室、実験・実習室、体育館などは短期大学設置基準を充たし、十分に整備されている。授業展開のための機器・備品なども十分に整備されている。

図書館のスタッフ、蔵書数、設備などは適切に整備されており、図書館ウェブサイトの開設・OPACの公開など利用者へのサービス向上に努めている。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

それぞれの担当教員は、学生による授業評価の結果をもとに授業の工夫改善を図り、教育目標達成のための努力を重ね、高い授業満足度、98%以上の資格・免許取得率の結果を得ている。

就職課職員はもちろんのこと、学長、教員が実習反省会などの機会を有効に利用し、卒業後評価へ取組んでいる。卒業生のホームカミングデーを企画実施し、教育実績や効果を確認している。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

入学志願者に対し、「大学案内」「学生募集要項」により建学の理念や多様な入学者選抜の方法について分かりやすく明示されている。入学手続き者に対する情報提供、入学時オリエンテーションも適切に行なわれている。

入学時よりアドバイザー制度の導入により、学生に対するきめ細かな学習支援が図られている。「音楽」において学習の進度に対応した学習支援がされている。

学生生活支援の体制が学生生活委員会を中心に整備されており、その支援のもと、学生は主体的に学生会などの活動に取り組んでいる。キャンパス・アメニティ、心身の健康管理などについても適切な配慮がされている。さらに、「学生の満足度」調査を実施し、学生生活に関する学生の意見や要望の聴取を図っている。

就職や進学の見学支援については就職課やアドバイザー制度により十分な対応がされている。

#### 評価領域Ⅵ 研究

全専任教員は、自分の専門分野の研究活動を活発に展開し、その成果を著作、論文などにまとめている。個室の研究室、週1日の研修日、個人研究費、研究図書費、奨励研究費、紀要発行など研究に関する諸条件は整備されている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

当該短期大学の社会的活動の位置づけは明確にされており、当該短期大学の教育資源を世に開放し提供する社会的活動が実践されている。この社会活動として、図書館

の 2,000 余点所蔵の紙芝居を基に紙芝居の情報センターをめざす「子ども文化と紙芝居プロジェクト」が立ち上げられ、地域において活動を展開中である。さらに、地域の幼児・児童・保護者対象の授業「保育内容指導法—実践研究—」の最終発表の「りゅうじょう子どもフェスタ」が実施されている。

ボランティアや地域活動への参加は、保育者としての技能を高め、学生自身の人間性を高めるものであるとの評価のもと、多くの学生がボランティアを実践し、地域社会に貢献している。

聖公会の機関 CUAC (Colleges and Universities of the Anglican Communion) 主催の国際会議において世界の教育機関との有意義な意見交換を行なっている。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

学長は、教授会の議長、運営委員会のメンバーとして教学上のすべての事項に関与し、建学の精神に沿った教育活動が展開できるよう適切なリーダーシップを発揮している。学長のリーダーシップのもと、教授会、各委員会は、学則や規程に基づき適切に運営されている。

事務組織は合理的に組織化されており、事務諸規程も完備している。SD 活動も活発に行なわれている。

人事管理は、就業規則など整備され、教職員に周知が図られ、適切に行なわれている。

学校法人および短期大学の管理運営は全般に適切に行われ、その体制は確立されている。理事会は意思決定機関として適切に運営され、監事は寄附行為の規定に基づいて適切に業務を行っている。評議員会は理事会の諮問機関として機能している。

#### 評価領域Ⅸ 財務

学校法人および短期大学の財務運営は適切に行われている。中・長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算の決定は、確立された制度のもとで適切になされており、適正に執行されている。

学校法人および短期大学の経営の状況は、過去数年にわたり均衡しており、財政状態も健全に推移している。

教育研究経費や教育研究用の施設設備および学習資源に対する分配は適切である。施設設備、物品は整備された財務諸規程に基づいて適切に管理されている。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

自己点検・評価委員会が組織化され、自己点検・評価規程に基づき評価・点検を実施している。学生の授業評価と教員の教育研究・業績をまとめた自己点検・評価報告書が「名古屋柳城短期大学の現状と課題」として刊行され、公表されている。全教職員が、その成果から、それぞれの立場で当該短期大学の現状を理解し、それぞれの持

ち場で改善に努力している。